

## ～ 研究に関するお知らせ ～

横浜医療センター薬剤部では、下記の研究を行います。

「外来における抗菌薬使用指標に対する修正 AWaRe 算出法の影響評価：後方視的観察研究」

この研究は、条件を満たす患者さん全員を対象といたします。情報等が当該研究に用いられることについて、患者さんもしくは患者さんの代理人の方にご了承いただけない場合には研究対象としないので、最終ページに記載のお問い合わせ先までお申し出ください。その場合でも患者さんに不利益が生じることはありません。

### ■ 研究の対象となる患者さん

2025年1月1日から2025年12月31日までに当院外来で抗生物質が処方された患者さん

### ■ 利用する試料・情報の種類

上記の対象期間中に、診療録に記録された診療情報を研究に使用させていただきます。使用に際しては「人を対象とする生命科学・医学系研究に関する倫理指針」に則り、個人情報 は厳重に保護した状態で行います。

### ■ 研究の概要

#### • 研究の目的及び意義

この研究は、外来診療における抗菌薬（抗生物質）の使われ方を、より正確に評価する方法について検討するものです。

現在、抗菌薬の使用状況は「AWaRe 分類」という国際的な指標を用いて評価されていますが、長期間にわたる処方や予防目的での使用が多い場合、実際の適切な使用状況が正しく反映されないことがあります。

本研究では、こうした影響を調整した新しい評価方法を用いることで、抗菌薬の適正使用をより正確に把握し、将来的な感染症治療の質の向上や薬剤耐性菌対策に役立てることを目的としています。

#### • 研究の期間

倫理審査委員会承認日～2027年03月31日

#### • 研究の方法

本研究では、2025年1月から12月までに当院外来で抗菌薬が処方された患者さんの診療情報をもとに解析を行います。

具体的には、処方された抗菌薬の種類や使用日数などの情報を集計し、従来の評価方法と、新たに調整を加えた評価方法とを比較します。

なお、長期間使用されることが多い一部の抗菌薬については、評価上の影響を調整するため、使用日数の上限を設定するなどの工夫を行います。これにより、実際の診療状況により近い形で抗菌薬の使用状況を評価します。

この研究は過去の診療情報を用いて行うものであり、新たに患者さんに検査や治療をお願いすることはありません。

- 外部への情報等の提供、個人情報等の取り扱い

この研究で得られた情報は、患者さんを特定できる情報（氏名、住所、電話番号等）は記載せず、本研究固有の症例番号（症例毎に採番）にて管理します。症例番号とカルテ患者 ID 等の対応表データを別途作成します。作成する対応表データはパスワード保護の上、研究責任者が厳重に管理します。

この研究の成績をまとめて学会発表や学術論文として公表されることもありますが、いずれの場合も患者さんの名前等の個人的な情報は一切公表されません。また、この研究で得られたデータが、この研究の目的以外に使用されることはありません。

- 研究の資金源

本研究は、資金を要しない研究です。

- 利益相反に関する状況

本研究における、開示すべき利益相反は特にありません。

※ 臨床研究における利益相反とは

「主に経済的な利害関係によって公正かつ適正な判断が歪められてしまうこと、または歪められているのではないかと疑われかねない事態」のことを指します。具体的には、製薬企業や医療機器メーカーから研究者へ提供される謝金や研究費、株式、サービス、知的所有権等がこれにあたります。

## ■ 研究の実施体制

研究代表者：横浜医療センター 薬剤部 薬剤師 水島淳裕

## ■ ご質問等について

本研究に関するご質問等がありましたら下記までお問い合わせ下さい。ご希望があれば、他の研究対象者の個人情報及び知的財産の保護に支障がない範囲内で、研究計画書及び関連資料を閲覧することができますのでお申し出下さい。

<お問い合わせ先>

独立行政法人国立病院機構横浜医療センター

薬剤部 薬剤師 水島淳裕

〒245-8575 横浜市戸塚区原宿 3-60-2

電話 045(851)2621（代表）※平日 9：00 ～ 17：00